

自分や 家族の老後を 真剣に考えたことが ありますか？

少子高齢化、晩婚化、核家族化、平均寿命の延伸による人生100年時代の到来など、「家族」の様子は時代と共に変わってきました。

全国的に2025年問題が叫ばれています。これは、団塊世代が75歳以上になり、医療や介護が逼迫すると言われているものです。今まで働き手として活躍してきた団塊世代が、社会保障（年金や医療・介護保険など）を受ける側となる一方、それらの保障を支える働き手は少子化の影響で不足してしまつて、介護難民など様々な問題が危惧されています。

今月は、飯南町のこれからの高齢者介護について考えてみようと思います。

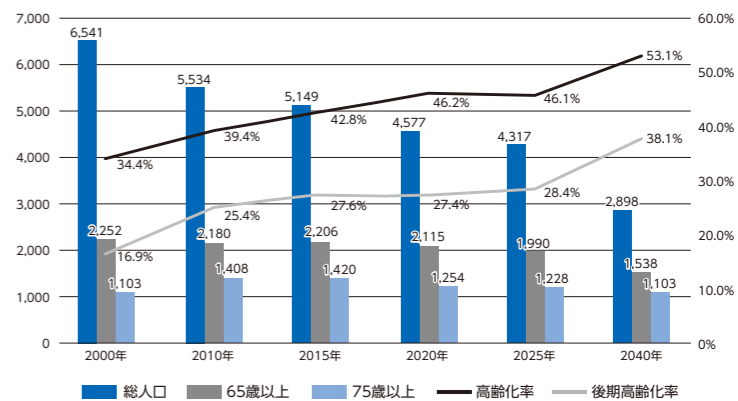
では、町の2025年ほどのようになっているのでしょうか。

高齢化率の推移

その前に、まずは町の現状を見てみましょう。島根県は全国でも高齢化のトップランナーと言われ、全国の10年先を進んでいると言われています。そして、県内でも第4位と高齢化率の高い飯南町。令和2年の国勢調査では、高齢化率は46.2%となっています。

そして、これから先の推移を見てみると、2025年には46.1%と一旦落ち着くものの、再び上昇に転じ2040年には53.1%になると推計されています。

① 高齢化率の推移



介護職場のスタッフ数

県内の市町村に比べ 介護・福祉の従事者割合が2倍

H28年度経済センサスによると、県平均の10.6%に対し、飯南町は18.9%と医療・福祉分野の従事者が多い町です。これは、他の市町村に比べ介護サービスを利用しやすい体制があると言えます。60歳未満の就業者で見ると、町内では第1位の雇用場にもなっています。

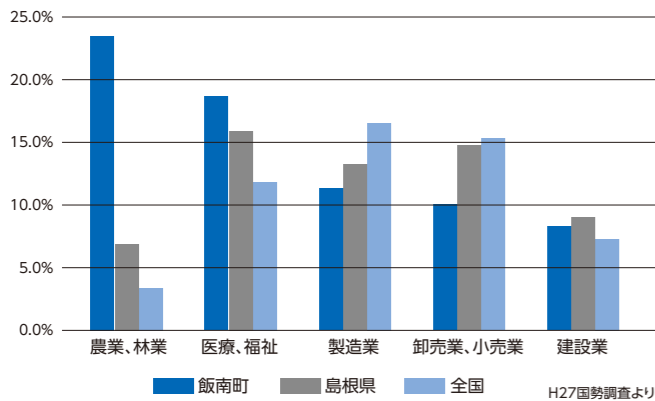
介護職員の給料は？

介護職場は、体力的にきつい、給与水準が低いなどといったイメージがあり、人材確保の上でもネックとなっていました。

しかし、近年は国を挙げて介護職員の処遇改善に取り組んでいます。

具体的には、「処遇改善加算」という仕組みを設け、事業所ごとに賃金改善に対する取組などを評価し、最高で月額8万円相当の改善ができるものです。

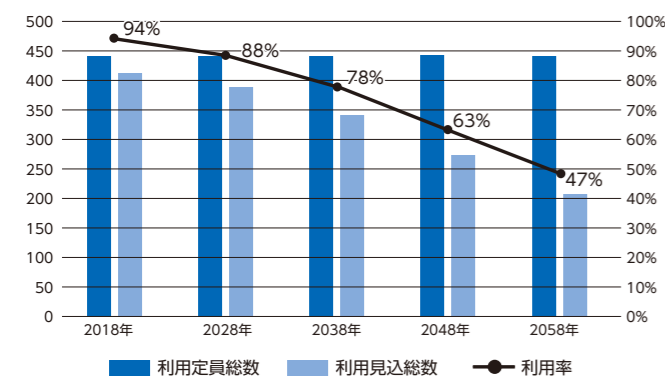
② 従事者総数に対する産業別従事者割合(上位5位)



グラフ③で示したように、今後人口減少により、町内の介護サービスの利用者は右肩下がりととなり、40年後にはサービス利用率が50%以下となる見込みです。サービス利用者の減少は雇用の減少に繋がり、雇用の減少はUIターン者の減少に繋がるという悪循環が懸念されます。

一方、サービス利用者が減少すると、必要なスタッフ数も比例して減少しますが、町内の総就業者数に対する必要なスタッフの割合は、上昇を続ける見込みであり、他業種との職員の取り合いも予想され

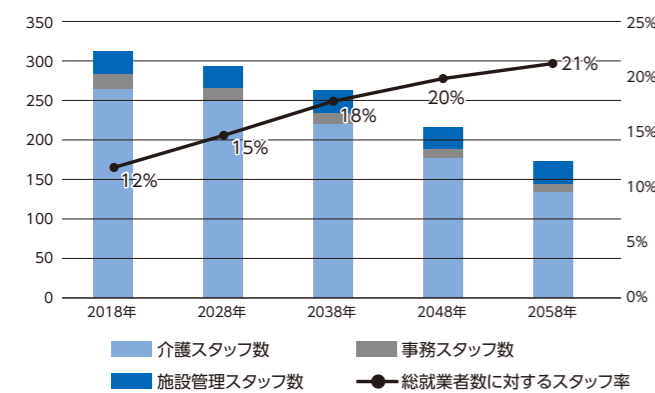
③ 介護サービスの利用者数の推移



町内の特別養護老人ホームでは、近年受け入れ制限を行うなど、既に影響が出てきています。

要介護状態になっても住み慣れた地域で生活したい人は多いですが、実態として、町内の施設では間

④ 介護事業所スタッフ数と総就業者数に対する割合の推移



人材確保のための施策

【町の取組】

飯南町では、子どもの時からふるさと教育を通して、郷土愛を育むほか、介護現場での職場体験なども行い、介護現場へ興味を持つてもらおう取組をしています。助成制度も設けており、介護職を志す人を応援しています。

- 介護福祉士を目指す学生を支援
 - 入学時一時金 50万円
 - 最大4年間 月額5万円
- 介護福祉士として就職する人を支援
 - 50万円以内(基本分30万円+住所を飯南町に移された場合20万円追加)

【Topics】

- 介護の入門的研修
 - 少しでも気になったそのアナタ！
 - 日時 11月25日(金)～27日(日)
 - 対象者 これから介護の仕事をしてみたい人
 - 場所 三万屋健康福祉センター
 - 受講料 無料
 - 申込締切 11月4日(金)
 - 申込方法 保健福祉課に電話(72・1770)

【福祉施設協議会の取組】

町内の6法人が集まって組織された「飯南町福祉施設協議会」が、平成29年度に立ち上がりました。官民一体となつて、町民の皆さんの「暮らしの継続」を支えていくため、人材確保・人材育成を中心に取り組んでいます。

【事業内容】

- 行政、病院などとの懇談会や課題検討会の開催
- 研修会講演会の実施
- ケアマネジャー資格取得に向けての講座やリフレッシュ事業を企画
- 都市部で開催される「UIターンフェア」へ参加(町と共同)
- 人材募集のためのポスターを合同で作成
- コロナ対策用品の共同備蓄など

